

昭和 15 年生まれ 血液型/ A 型

市交通安全母の会会長の鈴木信子さんは 平成22年から県の会長を務め、2期目の 春を迎えました。迫町佐沼地区の会長も務 める鈴木さん。地区、市、県のトップとし て「交通安全は茶の間から | を合言葉に、 仲間と精力的に活動に取り組んでいます。 母の会の活動を始めたのは昭和57年、友 人からの何気ない誘いがきっかけでした。 以来、2人の息子の母親でもある鈴木さん は、子どもの交通事故防止を強く意識する ようになりました。「こうして母の会の活 動ができるのも家族や周囲の理解があるか ら」と話す鈴木さん。「私たちの活動に終 わりはありません」と力を込めました。



「交通事故をなくしたい」と話す鈴木さん(中央)。左は 市交通安全母の会副会長の岩淵貞子さん(東和町米川2 区)、右は同副会長の鈴木とき子さん(登米町館山)



いたり、鋤を押したりしました。農法に戸惑いながらも、馬の手煙 の実習田で馬による田起こし「馬耕」 に挑戦。今では見られなくなった昔の ▲上沼高の生徒たちが4月2日、同校 馬の手綱を引

今月の表紙





の出来事やさまざまな人の思いをう

がら取材や編集をしています。 りました。 初めての仕事に戸惑いな

市内

まく伝えられるように頑張りたいと

します。

南方出身です。

(田代)

思います。これからよろしくお願い

モバイルとめ

校生活を送ってくださいね。(佐藤) 顔になりました。これから楽しい学 かわいらしい姿に周りのみんなも笑

▼4月の人事異動で広報広聴係にな

(携帯電話版ホームページ) http://www.city.tome.miyagi.jp/m/

ら入場してきた新1年生。初々しく

取材に行ってきました。在校生や保

▼4月8日、宝江小学校へ入学式の いきたいと思っています。(遠藤) て、まちの成長や人の輝きを伝えて

護者らが見守る中、少し緊張しなが



肌に感じながら「広報とめ」を通じ めてきました。日々変化する景色を 気温が上がり一気に草花が色付き始 い先日までの寒さがうそのように、 ▼新年度がスタートして1カ月。 編集室から